



札幌車両基地壁面デザイン案パース図(札幌厚生病院前付近(南側)から望む)

新幹線を つくる

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



まちとともに築く 札幌車両基地デザイン検討中!

Vol.45

札幌車両基地は、整備新幹線で初めて都市の中の高架橋上に建設される車両基地です。通常、車両基地は、車両の検査場や留置する場所を備える必要があるため、広大な面積の土地に平面構造で建設されるのが一般的です。しかし、札幌駅付近ではそのような土地の確保が難しいことから、高架橋の上に車両基地が建設されることになりました。

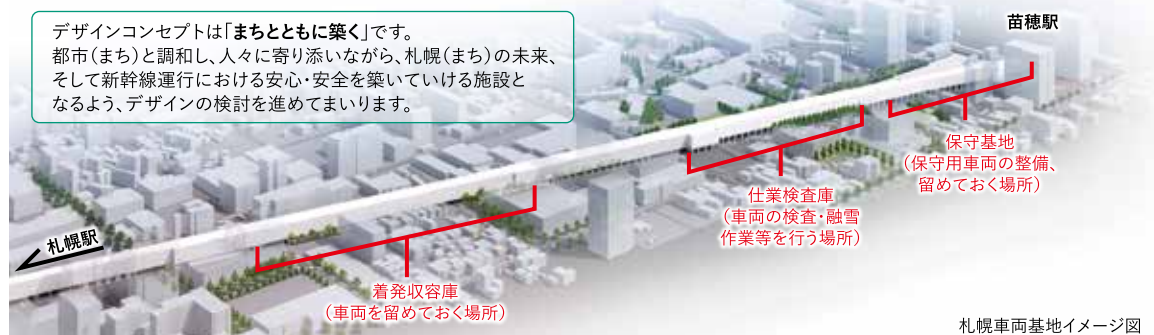
構造としては、新幹線札幌駅のホーム東端部からJR苗穂駅までの全長約1.3kmにわたり、高さ約12mの構造物が高架橋上にできることとなります(高架橋約10m、構造物約12mの約22m:7階建てビル相当)。

そのため、外観が札幌の街並みと調和するよう、札幌市が設定した「札幌の景観色70色」を基調としながら、デザインの方向性等について、建築意匠、景観等に関する有識者の先生方からご助言をいただき検討を進めています。また、1月末から2月初にかけて周辺地域の皆様からご意見を伺い、それらを可能な限りデザインに反映していきます。



札幌車両基地 鳥瞰写真

デザインコンセプトは「まちとともに築く」です。都市(まち)と調和し、人々に寄り添いながら、札幌(まち)の未来、そして新幹線運行における安心・安全を築いていける施設となるよう、デザインの検討を進めてまいります。



札幌車両基地イメージ図

車両基地ってなに?

車両基地とは、鉄道車両の留置や検査などの業務を行う場所の総称です。事業者によって、「総合車両所」や「車両センター」などとも呼ばれます。構造としては、営業車両を留めておく「着発収容庫」、車両の検査や融雪作業等を行う「仕業検査庫」、線路や新幹線設備を保守するための保守用車両を留めておく「保守基地」などが含まれます。

北海道新幹線には、新しく建設される札幌車両基地のほかに、亀田郡七飯町と北斗市にまたがる函館総合車両基地(函館新幹線総合車両所)があります。

Instagram



北海道新幹線の最新情報は、Instagramからもご覧いただけます。